

公表

事業所における自己評価結果 【保育所等訪問支援】

事業所名		公表日					2025年3月24日
聖隷こども発達支援センターからみあ							
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・整備・運営・体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4	0	・必要であれば、からみあにある教材や道具で対応できていると思う	現在訪問支援向けの教材等は特に用意をしていない。必要に応じてリハ職が物品を持参している程度である。使いやすい物品の紹介等も訪問時適宜出来るように、物品の用意を進める。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	・待機も有のため、現在はどちらともいえない ・待機児がいると聞いている為、配置数が増えると思う	訪問支援に求められるスキルが高くなっているため、配置出来る職員数に限りがあり、時期により待機が出ている。研修や同行を通じて職員の質を高め、対応力の向上と訪問支援の職員数を増やしていきたい。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1	・児発のケースは、クラス担任など子どもに関わる多くの職員で参画できているが、小学生は放デイとの連携に限界もあり担当者任せになりがち	からみあ内では職員間での共有等の時間を確保できている。小学生のケースに関しては、児発管の参加する共有会は定期的に行っているが、現場の職員同士での連携は意図的に時間を設定していないため、個々の連携に留まり気味。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		会議の中でアンケート項目を共有し、内容についての改善方法を検討している。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	・第三者による評価の結果を個人的に把握できていない	第三者による外部評価について、今年度はアンケート後に実施し、結果については会議内で共有した。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	2	・保育所向けの研修もある嬉しい ・保育所の研修（内部・外部含め）少ないと思う ・非常勤務職員は、個人的に確保せざる得ない為、個人任せになっている面はあると感じる	児発向けの研修内容がメインであり、保育所等訪問支援に特化した研修は今まで実施が出来ていない。訪問支援員のスキルが求められているため、次年度は訪問に特化した内容の研修を開催できるよう検討する。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	1	・子どものニーズの把握、分析は弱いと感じる	訪問先の意向や保護者の想いを汲んだ内容の支援計画となっているが、児に関しては、課題は把握できているが一人ひとりのニーズを読み取るころまでは弱さがある。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		毎月会議の中でカンファレンスの時間を設け、訪問支援員全員で考えている。カンファレンスを行う前月には児童発達支援の職員と支援内容の共有を行っている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	0	・訪問先との連携は心掛けているが（特に学校では）、先生方の働き方改革の流れもあり、話し合いの時間の確保に苦慮している	支援計画評価の前月に、訪問先と支援計画の内容について見直す時間を設定している。児発管の参画については、どのように参加できるか模索中。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		保育所等の訪問支援員同士では支援計画の内容の共有は出来ているが、児発の職員とは改めて共有する機会が評価前まではないため、お互いにどのような支援計画の内容で支援をしているか、共有の場の必要性については今度考えていく部分ではある。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	・インフォーマルなアセスメントに頼りがちになっている	ガイドラインに基づいたアセスメントシートを作成し、児の状況について把握している。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	・求められる専門性が高くなっており対応しきれていない面もある	ガイドラインで示された内容が、多岐に渡りかつ専門性も強く求められている部分もあり、内容として把握が出来ていても、全ての内容を網羅して実施することには難しさがある。ガイドラインの内容を全体で読み込み理解する所から始め具体的な支援内容を設定していく。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・必ず児発管や所長に報告するようにしている	支援の経過について、職員間でタイムリーな共有が出来なかったことで保護者からご意見をいただいたことがあったため、その後はタイムリーな共有出来るように努めている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0	・既に行われている支援で、効果的な物を共有することを心掛けている	私立園や学校等に関しては、訪問先の状況に合わせた支援を心掛けている為、児の状態によっては効果的な支援にすぐに繋がりにくい部分もある。児の特性と訪問先の理念にどう合わせて支援を提供するか模索していることが多い。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
適切な 提供支援の	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0		
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関係機関 連携や保護者との	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		会議等には児発管、訪問支援員、児発担当者と対象児に関係している職員が参画している。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・サポートノートの作成は効果的だと感じる ・学校に渡すタイミングや方法はケースバイケース なため、丁寧に相談している	就学サポートノート作成時は、訪問支援員も参画し画での姿も踏まえた内容で記入することが出来ている。特別支援学校は入学後に連携会議があり、直接情報共有をする場となっている。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	0	・本当に困った時は積極的に相談や助言をもらいたい	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	0		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		毎月の訪問報告や評価面談の機会を通して、児の様子を共有している。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0		児童発達支援と併せて実施している。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0		毎年年度初めには訪問の挨拶に伺い、丁寧に事業の説明を実施した後に訪問を開始している。ガイドラインでは事前の説明の項目が増えたため、パンフレットの修正を検討している。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	・児発の中であり	児童発達支援と併せて実施している。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	0	4	・保育所等の発信については、今のところ行われていない ・保育所等のみの通信はないと思うが、作っても良いと思う	保育所等のみの情報発信は現在出来ていない。どのような情報が必要なのかを含め、発信について検討していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
訪問先施設等へ	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0		訪問時に情報交換の時間を設けていただいているが、小学校の通常級を利用しているケースに関しては、休み時間の短い時間の中での共有に留まり、じっくりとした話し合いが難しい状況であった。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
説明施設への訪問	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0		直ぐに返事が難しい内容に関しては、一度持ち帰り、他職員と共有した上で返答を行う等の対応を行っている。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		